

品種	作付面積	単収	地域の単収との差(地域の平均単収)
もみゆたか	約10.9ha	603kg/10a	169kg/10a (434kg/10a) [※]

※作柄調整後の地域の平均単収

【経営概況】

○ 法人経営

○ 地域の耕地の集積を進めており、水稲作を中心に取り組んでいる。

【作付品目】

○主食用米

にこまる、あいちのかおり 50.0ha

○飼料用米(種子用を含む)

もみゆたか 10.9ha

【取組のきっかけ】

○ 平成29年から米の需給調整の取り組みとして、農業経営の安定化を図り安定した収入が見込める飼料用米に着目し、実需者と契約を交わし生産に取り組んでいる。





愛知県

犬山市

【取組概要】

○ 平成30年産から普及所の勧めもあり、多収性もある知事特認品種「もみゆたか」を選定し栽培に取り組んでいる。

主食用米は「にこまる、あいちのかおり」で取り組んでおり、飼料用米と作期分散を図り効率的な作業を実施している。

○ ①飼料用米の作付けの団地化及び直播栽培を主に取り組むことで、生産コスト低減及び作業の省力化・効率化を図る、②ドローンを使用し作業効率を高める等の取組みを行っている。

○ 施肥管理は、基肥(直播栽培(化成肥料(42-0-0) 40kg/10a)、(移植栽培(化成肥料(14-9-7) 40kg/10a))を導入している。

○ 実需者と、施肥のタイミング等の肥培管理について打合せを行い、畜産飼料の安定供給を目的とした飼料用米生産に取り組んでおり、令和6年産より「ミズホチカラ」、「とよめき」の栽培も予定している。